

2022年度
募集開始

子どもが
孤立しない
地域をつくる。

応募期間：5/10~6/12
プログラム開始：7月~

Citizenship for Children 2022

Citizenship for Childrenとは、

『市民性』を起点に、自分らしいあり方を探求・実践するプログラムです。ひとりひとりが自分らしい市民性を醸成し、行動できるようになることで、子どもと自分、地域のwell-beingをつくりまします。

自分なりの市民性を探求し、発揮する

本プログラムで行うのは、いわゆる支援職や専門職の養成ではありません。一人の人であり市民である自分を客観視すること。子どものためだけでも自分のためでもない、その両者を大切にするとどういふことを問う視点をもった上で、具体的なアクションを起こすこと。そして、答えを求めめるのではなく、学び続け、問い続ける姿勢を持つこと。そのような市民、また市民によるアクションが子どもの生活する日常の中に生まれ続けていくことを目指しています。

同じ志を持った仲間とともに、 「自分らしい関わり」を探求してみませんか？

こんな方におすすめ

- ・子どもと関わっていきたいが、そのきっかけが欲しい
- ・子どもの気持ちや願いに丁寧に寄り添えるようになりたい
- ・地域を越えて、同じような価値観・想いを持った仲間と出会いたい
- ・目の前の一人との関わりだけでなく、まちの資源も生かして自分なりの市民性の発揮の仕方やアクションを探求したい

詳細はこちら

募集開始の案内が届く
メルマガ登録はこちら

SNS



instagram : @pieces_npo
Twitter : @PIECES_Tokyo
WEB : www.pieces.tokyo

<https://www.citizenship-for-children.org/>



参加者のみなさまより

これまで他者との違いに対して「違うのは寂しいこと」として捉えていて、共感できる人に対して自分が前のめりになってしまう感覚があったが、違いに目を向けることができるようになった。

専門性がなくても、自分がやってる居場所や活動を肯定できるようになった。このままでいいのかと苦しいところがあったけど、観察するところに意味があると思えた。

学校で相談員として働いているが、教員でも専門職でもない役割のため、本当は関わりたいけど「相談室にくる子だけでいいや」というように関わる範囲を区切るようになっていた。でも、プログラムを通して、自分の気持ちを大事にした方がいいと思うようになった。